

■■受験対策ミニ講座 1号■■

夏のスクーリング、お疲れ様でした。秋からは国家試験を意識していきましょう。この「ミニ講座」では国家試験対策として過去問題を中心に、問題と正解、簡単な解説を、毎週1回を目安に発信していきます。試験準備の“きっかけ”として活用してください。

過去問に取り組む時は、正解を暗記することよりも「なぜ×なのか？」をよく考えることが大切です。この講座では個々の問題に関する質問にお答えすることはできませんが、疑問に思ったことはご自分でテキストや参考書を紐解いて、知識をふやして行って下さい。もちろん、この1問に取り組むだけで合格が約束されるわけではありません。ご自分に合った参考書、ワークブックなどを購入して、コツコツと学習することが、合格への道すじです。

まずはウォーミングアップとして、「社会福祉士の倫理綱領」に関する問題を解いてみてください。

《小テスト：「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」は社会福祉士法に基づいており、法的拘束力がある。○か×か》

■Plus Column

【参考書はどれがいい??】

解説中心のもの、表やグラフが多いもの、イラスト入り . . . 驚くほど多種多様な参考書やワークブックが出版されています。人それぞれ個性があり、バックグラウンドも違うので、自分に合ったものを自分で選ぶしかありません。一度、大きな書店に行って数ある参考書を手にとって、「自分にとってわかりやすく、興味をもって取り組みそうなもの」を選ぶことをお勧めします。ただし、コンパクトなものは、直前対策や通勤時の“パラパラ見”用です。準備段階では各科目の全容がわかるような、しっかりした分厚いものが、どうしても必要になります。

「合格体験記」を読めば、合格した人はみな、相当な努力をしていることがわかります。時間と自己投資を惜しまず、積極的に、そしてコツコツ . . . これしか合格への道はありません。では、また次回お会いしましょう。

小テストの正解は×です。

「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」は日本社会福祉士会が団体の総会で採択したもので、専門職として倫理観をもって自らを律しながら、人々のために働こうという意志を内外に示したものです。法律に基づくものではなく、従って法的拘束力もありませんが、社会福祉士が自らの行動の規範として大切にしているもので、国家試験の頻出項目でもあります。

みなさんも高い倫理観をもった社会福祉士を目指して、前進しましょう！

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus

発信者： 公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
